



NO.442

R6年6月1日

発行

〒869-1217

熊本県菊池郡

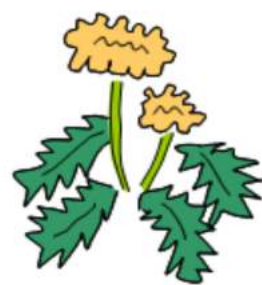
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



『梅雨を前に』…

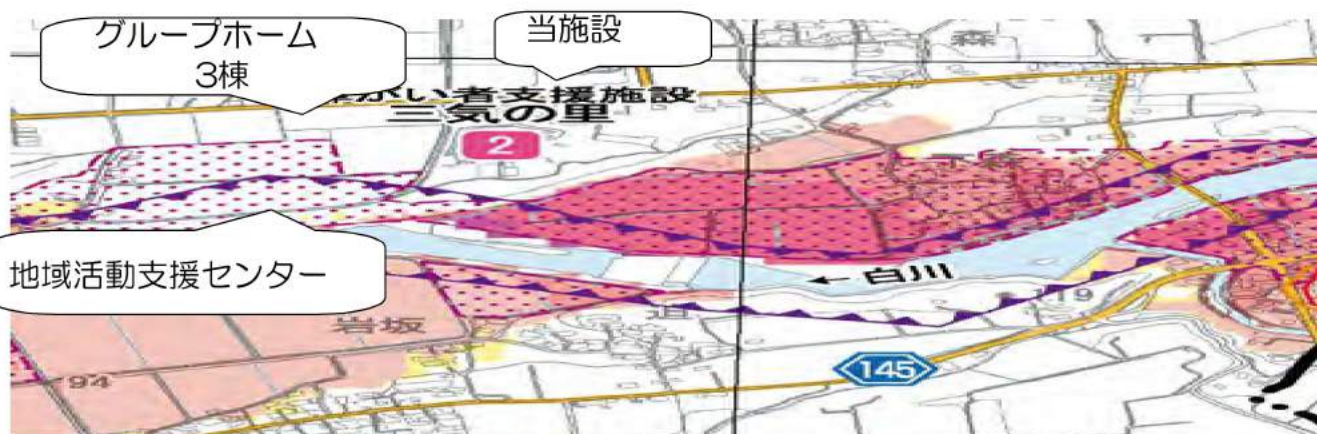
施設長 木下昭二

日本ばかりか世界のあちこちらで起こっている自然災害。地震や、毎年どこかで発生する風水害や河川の氾濫、それに伴う土砂災害など、本格的な梅雨入りを前に、今年も異常気象を警戒する時期が近づいています。幸いにして三気の里は高台に位置している為、水害の心配はありませんが、関連するグループホームは県内でも有数の大きな河川の一つである白川から少し離れた場所に位置しており、警報級の大雨予報になると警戒が必要になります。それよりも更に白川に近い地域活動支援センターは、より迅速な対応が必要ですが、利用者さんの「住まい」ではない為、夜間の避難等を考えずに済む分、少し気持ちは楽になります。

「水害対策」で最初に思いつくのが、市町村が出しているハザードマップですが、年々増加傾向にある雨量や、一定の地域に集中的に降る「線状降水帯」の発生に伴って、ハザードマップの情報も更新（避難・警戒区域が広範囲化）されているようです。それで改めてこの梅雨に入る前に、施設の周辺だけではなく、有事の際に自宅から駆けつけることを想定して、普段通っている通勤経路のハザードマップを辿ってみました。三気の里がある大津町まで自宅から一市二町を通過して、14kmほどを23分、25分で通勤していますが、調べてみて驚いたのは、その一市二町の市役所や役場のホームページ等で示されているハザードマップの内容や提供（地図の区割りの）の仕方に統一性がなく、「分かりづらい」と感じました。市町村によって面積の違いや平野部、山間部、大きな河川までの距離感など環境の違いがあることは理解出来ませんが、前出の例のように豪雨災害が予測される際に、あるいは降り始め頃に移動が必要な場合等に於いて、市町村の横の連携が取れていない、またはその情報の統一性が図られていないことで、スムー

ズな移動の妨げになったり、場合によってはより危険な状況に晒される可能性があるように感じます。また、マップ上は危険区域に指定されていなくても、ゲリラ豪雨的な短時間での集中豪雨があると、排水が間に合わずに冠水して車の通行に支障が出てしまう場所があっても、ハザードマップには反映されていないなど、実用性に欠けるものであってはならないと思います。が、実際には過去の豪雨の際にハザードマップ掲載以外の場所で冠水する道路があった、というのが実情です。

「万が一」は、ないに越したことはないのですが、更に精査して「万が一」にも万全の備えをして、すぐに駆け付ける、または危険が迫っているから待機する等の適切な判断が出来るようにして、その思いを全職員間で共有していたいと思います。（下図は施設周辺のハザードマップです）



6月

『向上心』

3月に支援学校を卒業され、4月から新規利用されている18歳の女性の利用者さんがいらっしゃいます。毎週月曜日と金曜日に来られています。その利用者さん(以降、Yさん)は元気いっぱい、一班作業棟はより活気に満ち溢れています。今はニフコのパッキン作業に慣れて頂く為に、スタッフが製品に合った自助具をそれぞれ開発しながら、一緒に作業を取り組まれています。Yさんは週2日は利用ですが、スタッフと一緒に一つずつ製品にパッキンをはめて、精度向上に向けて頑張られています。作業に対して積極的で、上手くいかない時には悔しそうな表情も見られます。作業の意欲、精度向上に向けて頑張ろうとされる姿に私は惹かれています。Yさんのその姿勢をお手本に、私自身も支援の幅や質の向上に向けて頑張ろうと思いました。

生活支援員 園田 真紀

『新たな一歩』

新年度から16年間所属していた1班から2班に異動して、1ヶ月が経ちました。1班では毎日の納期にスタッフが追われており、その中で作業を進めながらも利用者さんと作業を通じての関わりも行っていました。その点、2班では1週間に1回の納期に向けて、ある程度心にも余裕を持ちつつ計画的にネット作業を進めることが出来ます。2班の利用者さんは全員参加でネット作業に携わっておられます。作業中は帽子と手袋を着用され、その姿はまさに職人です。器用に折りが出来る方、ゴム止めが得意な方、袋入れ上手な方、それぞれの工程を専門とするプロの利用者さんがおられ、見ていてすごいなあと感じます。私なんてまだまだ足元にも及びませんが、日々努力をしてネット作業をマスターしたいと思っています。2班の利用者さん、先輩方、よろしくお願いします！

生活支援員 中村 照美

チャリティーボーリング大会 5月11日菊陽ボール



『癒やしをありがとう!』

私は、日中の作業を利用者さんと共に頑張っています。
1日の作業が一段落すると、Sさんは私の所へ駆け寄り来て、「今度の買い物はミスタードーナツがいいね」と話しかけてこられます。私は何のドーナツがいいですか?と尋ねると、「エンゼルフレンチが好きよ」と教えていただきます。ジュースの話になるとミルクコーヒーが好き、藤本さんは?と聞き返してくれるので、「私はアセロラジュースが好きですよ」と他愛もない話ですがそんな話ができる事に幸せを感じています。私はその方とおやつの話や服の話をするのが大好きで、私自身、心が癒されます。私が緑のカーディガンを着ていると、「緑似合うね!」と喜んでくださったり、「お母さんが来るよ(お迎えに)花柄のシャツを着てオシャレして帰ります」とワクワクしながら帰りの準備をしているSさんを見守りながら私も自然と笑顔になります。この癒やしの中で仕事ができる事に感謝します!癒やしをありがとうございます!

生活支援員 藤本身知子

『お誕生日』

利用者さんのどなたかが誕生日であるその日は、朝礼で報告があり、利用者の皆さんが見られる月間行動予定表、ホワイトボードにも記載してあります。その方にとって1年に1度の特別な日です。4班のAさんも5月に誕生日を迎えられました。毎朝4班が集う部屋で、誕生日を祝う歌を唄うと、皆さん笑顔になり、手拍子ありの大合唱でAさんをお祝いしました。Aさんは「オムライスを食べるよ」「どら焼きとみたらし団子を食べるよ」「本を買うよ」と外出を楽しみにされていました。その日1日、Aさんの周りはお祝いの言葉と歌と笑顔であふれ、私まで幸せな気持ちを頂きました。Aさん、まだまだこれからです!楽しいことを沢山やっていきましょう。健康に過ごして頂けるように体調管理に気をつけていきたいと思えます。

生活支援員 芹川 久美



BeTREE
マルシェ

自治会
ごみ拾い



『5月3日、初めてのBeTREEマルシェを開催しました。』

BeTREEは平成31年の開所から5年を迎えます。コロナ禍から徐々に日常を取り戻す中で、「日頃BeTREEを応援してくださっている皆様に楽しんで欲しい」「まちの拠点の一つとして更に地域と繋がっていききたい」との思いからマルシェを開催することにしました。初めてのことで手探りでの企画でしたが、日頃よりまちづくりで繋がる方々が趣旨に賛同くださり、モルックや地域食堂のブースなど、快くボランティアを引き受けてくださいました。BeTREEの利用者の皆さんも、テント運びや景品のコーヒーチケット作りなど、日頃のお仕事とはまた違った形で力を発揮され、何日も前から楽しみにされていました。

当日は予想を遥かに上回るご来場があり、モルックやeスポーツを楽しむ子どもたち、美味しいものを片手におしゃべりが弾む人たち、お祭りの雰囲気を楽しむ利用者さんたちと、温かい賑わいに溢れていました。新しい出会いもあちこちに生まれ、大変でしたが開催して本当によかったです。

これからもより多くの方がBeTREEに出会い親しみを持っていただけること、そして繋がりが更に広がっていくことを願って、6年目も挑戦を続けていきます。

BeTREE 橋本佳菜絵

療育雑記

『衣替えの季節』

事業課長 平川 聖子

衣替えといえは6月と10月、冬服から夏服へ、夏服から冬服へと以前は単純な作業に思っていました。しかし、地球温暖化が進み、四季もはっきりしなくなつた昨今は、季節に応じた衣服も曖昧で、急な暑さや寒さに対応するため、より細やかに衣服の調整が必要となつています。何ならもう衣替えはしないで、1年分の衣服をタンスに入れておけばいいのではないかと、いう考え方もあると思いますが、三気の里に暮らす利用者さんにとって、1年分の衣服から「今日」の季節や気候に合う服を自分で選んで着るとするのは困難なことです。タンスの中から上着とズボンを手にとって着れば大丈夫という環境設定をするところが大事で、予め季節や気候に合わせて調整された衣類の中から今日の1着を自分で選ぶのでおられます。中にはどれを選ぶかとても悩んでしまう方、同じ服ばかり着てしまう方もあり、1週間の服装を写真で提示したり、前日から翌朝に着る服を決めて準備しておいたりといった工夫

をしています。

Aさんは自分のことは自分でやりたいという意思の強い方です。特に衣服に関しては、触られることも受け入れ難く、朝の身支度が上手く進められなかったのですが、仕事がある日の服装はシンプルなカラーのTシャツやトレーナー、ジーンズと決め、ボードに写真で提示する支援をすることで、今は迷いなく朝の支度をされています。休日とはいうと、数ある私服の中からAさん自身が選択し、ある時はスポーティーに、ある時はしとやかにと自己表現されています。そんなAさんと、一昨年から衣替えで「衣服の種類ごと季節ごとにトラベルポーチに分けて管理すること」に取り組んでいます。

Aさんの強みは、文字、絵、写真などの視覚的な手がかりを活かせることです。前述した仕事着の写真ボードは前担当の提案で使いはじめて5年が経過、仕事の準備物も地震で避難生活をしていた7年前から文字カードを利用しており、間違いなく入れることができます。休日や外出のスケジュールも、時間とすることを書いて伝えると時計を見ながら行動され1ヶ月のスケジュールや散髪などの追加があればその都度ノートに書き加えを

されています。この強みを衣替えの中でどう活かすかということと、衣服の管理の仕方をAさんにとっても、担当にとっても、毎日の支援をするスタッフにとっても分かり易いものにするというところを大切に方法を考えてきました。1つのポーチには1種類の服、例えば「仕事用のトレーナー」と絵・文字カードで示したものを入れています。ポーチのメッシュ面から絵・文字カードが見えるように一緒に入れておくことで中身は一目瞭然です。Aさんがポーチとタンスの衣類を入れ替えたら、それを保管用の衣装ケースに並べて入れます。やはりはじめたころは入れるものや入れ方に戸惑いもあり、片づけた後も気になっていたので、片づけたが、次第に理解できたようでした。ポーチの中を手早く入れ替え、保管した後の確認もしなくて済むようになりました。衣服の交換が簡潔で、衣装ケースからの出し入れをしているうちに他のものも気になるということがなく、Aさんが衣服の確認をしたいときも分かり易いし、必要な時に必要なものが手早く取り出せるようになりました。何よりも、衣服についての関わりが穏やかにできるようになり、Aさんにとって安心できる形に近づいているのではないかと感じていきます。

衣服を着るのは毎日のこと、衣替えも気候が変わることに必要なこと。そしてやっぱり自分の服は自分で決めたい。Aさんが「自分でやれる」と安心できる人が変わってもAさん自身が継続していけるように、衣替えの季節に今一歩支援を進めたいと思います。



相談

『応援団』

「ゴールデンウィークも終わり、小中学校では、春の運動会シーズンとなりました。練習が始まったから学校に行きたがらなくなってきたといった声もちらほら聞かえてきます。発達に特性のある子どもさんの中には集団行動や大きな音、いつもと違った場所や雰囲気、苦手な方が多くいらっしゃいます。運動会当日まで、ほぼ毎日練習が続くので家に帰ればクタクタになっているだろうと想像します。毎年、運動会後にお母さん方に話を聞くと「今年は何ができましたか。」「今年は何ができませんでしたか。」「今年は何ができませんでしたか。」「今年は何ができませんでしたか。」など一緒に過ごせました。」「今年は何ができませんでしたか。」「今年は何ができませんでしたか。」「今年は何ができませんでしたか。」「今年は何ができませんでしたか。」といった成長を喜ぶ声が多く聞かれます。できたことを褒めて一緒に喜ぶことは子どもさんにとって、いい思い出に残ると思います。

これから先、社会全体が彼らの「応援団」となり、頑張りを認めてエールを送る世の中になったら、日頃から子どもさんのことを思って心配し、悩んでいる保護者の方にとって強力な「応援団」になるのではない

でしょうか。そんな社会になると信じて、今年も皆さんの運動会を応援したいと思います。

相談支援専門員 立花 訓子

アンパ

『地域共生』

地域活動支援センター「アンパ」は、地域で暮らす障がい（身体、精神、知的）を抱えている方の日常生活や社会生活をサポートする支援機関で、地域生活支援事業の一つに位置付けられています。近年は高齢化や少子化等様々な問題もあり、世代や分野を超えて誰もが支えあう地域を創っていく『地域共生』を求められるようになりました。アンパも以前（熊本地震前）は、パンや菓子販売を通して地域の方達とのふれあいが自然とできていたのですが、新しい店舗（田のTRICE）ができ生産活動が主となったこと、またコロナ感染予防策等により地域の方達とふれあう機会が減ってしまいました。そこで、今年度は子ども食堂『陣内食堂』や地域のゴミ拾いプラス、定期的に実施している創作活動に地域の方達にも参加していただき楽しい時間を共有できたらと思っています。ちな

みに第1回は6月14日14:00〜折り紙教室を実施しますので、ご興味のある方は是非ご連絡ください。

支援員 黒澤加代子

イベント食

『バイキング』

5月25日にイベント食がありました。内容としては、中華料理バイキングで天津飯と点心、ミニ醤油ラーメン、油淋鶏、マンゴープリンか杏仁豆腐でした。普段とは違ったメニューや食堂内の装飾でした。利用者さん、とても楽しそうにしておられるように見えました。スタッフやレオックさんの協力のおかげで、無事スムーズに終えることができました。このイベント食で利用者さんのとても楽しそうな笑顔が見られて本当に良かったです。

支援員 白石 峻真



7月スケジュール

06/02 (日) かくたつ研修～6/4 (火)
 06/07 (金) 芸術クラブ
 06/08 (土) 三気の里家族会
 06/11 (火) 意見苦情報告会
 06/18 (火) 田中Dr.ケースカンファレンス
 06/20 (木) 囑託医来診
 06/21 (金) スタート会 ワックスがけ
 06/27 (木) 健康診断

6/28 (金) ゴールドクラブ

毎週月曜日 訪問理容サービス

毎週火曜日 BeTREE役場販売

BeTREE

<営業時間>9:30～17:30



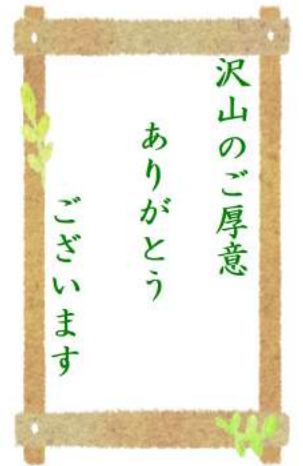
betree314

【寄付物品】

魚谷 秀文様	田中 満子様
櫻木 勇夫様	清田 栄一様
渡邊 正司様	松村 俊介様
中村 秀隆様	園田 裕子様
坂梨 清美様	小牧 博則様
梶原 大介様	中嶋 久枝様
森川 琇介様	藤岡 祐一様
財津 睦人様	赤星 央子様
金森 保様	東坂 富士代様
井手上 昌子様	

【後援会】

森区長 坂本 昭信様	
南九イリヨ(株)熊本支店様	
熊本県総合保健センター様	
福島循環器科内科医院	福島 敬祐様
魚谷 郁子様	吉田 憲司様
高橋 頌慈様	國本 寅雄様
東矢 真明様	牧野 慎也様
今池 隆則様	竹下 英毅様
井本 幸雄様	渡邊 正司様



陣内食堂



【ボランティア】

前淵 隆子様 (ブラッシング)

前田 克英様	吉田 浩二様
米田 孝一様	上田 夕キ子様
井上 優様	東坂 富士代様
宮本 茂様	清藤 由美子様
堀内 與様	小屋野 ミチ子様

6月の和名は水無月です。水無月の「無」は無いという意味ではなく、「の」を意味するそうです。水の月という意味で、雨の多くなる季節と言われています。雨男の私にとって気が楽になる季節です。

編集後記

中村 圭助

